

・施工は必ず専門業者の方が、この説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

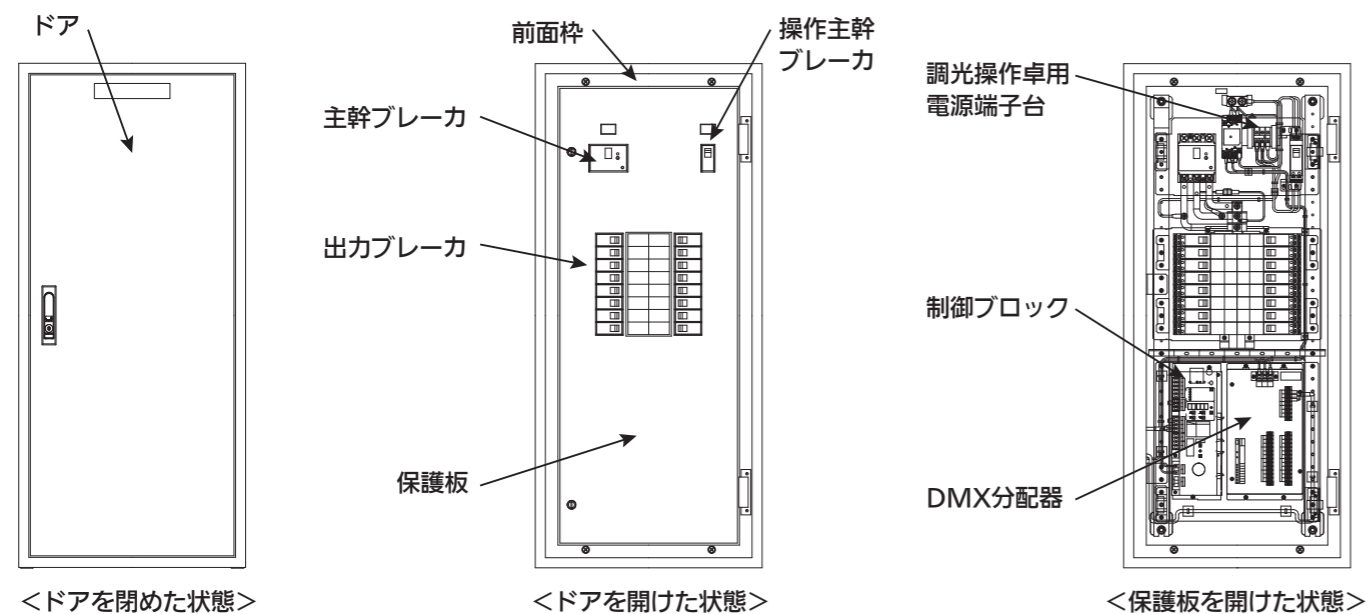
- 接地線は LED 調光制御盤の接地端子に確実に接続する。感電の原因となります。
- 壁への取付けは適切な太さのボルトで確実に行う。落下によるけがの原因となります。
- 屋外、湿気が多い場所、振動のある場所、可燃性のガスが発生する場所に取り付けない。火災や感電の原因となります。
- 換気された場所に設置し、使用時には周囲温度 0 ~ 40℃、相対湿度 45 ~ 85% を維持する。故障の原因となります。
- 配線は正しく行う。感電や火災の原因となります。
- 電線は剥き代を守り、接続完了表示窓全体が白色になるまで電線を差し込む。火災の原因となります。
- 施工時に取外した端子カバーなどは必ず元の位置に戻す。感電や短絡事故の原因になります。
- 施工時、機器内部に異物（電線クズやコンクリート壁材など）が入らないようにする。感電や短絡事故の原因になります。

施工上の注意

- ・連続負荷を有する分岐回路の場合、ブレーカに通電する負荷電流は定格電流の80%以下としてください。
- ・取付面の水平を確認し、仕様書に示した全ての取付部を適切なボルトで締付け、確実に固定してください。
- ・壁に強度がない場合は壁に適切な補強材を設け、取付けてください。
- ・露出取付けの場合はライナーなどで凸凹を調整した後、取付けてください。（ひずみによりドアの開閉ができないなど故障の原因になります）
- ・コンクリート壁へ埋込取付けの場合はコンクリートの打設時に仮枠を設けてください。また、必要に応じ補強材を設けてください。（変形するおそれがあります）
- ・本器は壁付専用です。床据置きの施工はできません。
- ・弱電回路は絶縁抵抗測定しないでください。
- ・端子ネジは適正締付トルクで確実に締付けてください。
- ・制御ブロックにある全点灯のスイッチは使用できません。全点灯する際は操作器をご使用ください。

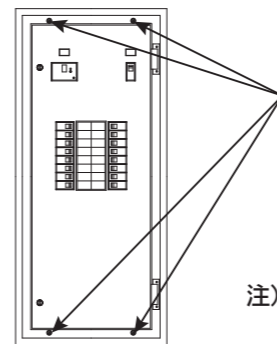
ネジサイズ	適正締付トルク (N・m)
M4	1.2~1.6
M5	2.0~2.5
M6	3.0~4.0
M8	5.5~7.0

各部の名称



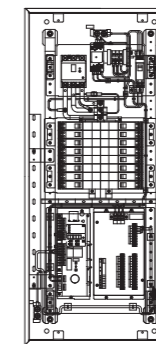
施工手順

1. ドアを開けて、前面枠（ドアと共に）と保護板を取外す。



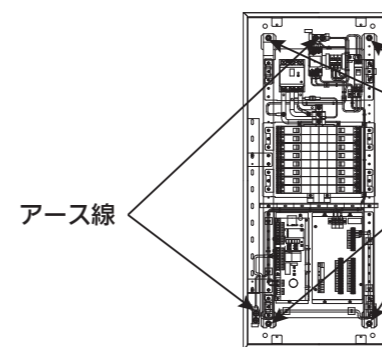
前面枠はドアを開け上下4箇所
のネジを外すと取外せます。

注) 右下のネジは接地用のネジです
取付時に区別する必要があります。



保護板は保護板を開け、上下2箇所
のネジを緩めると外せます。

2. 内器を取り出し、入線口を開ける。



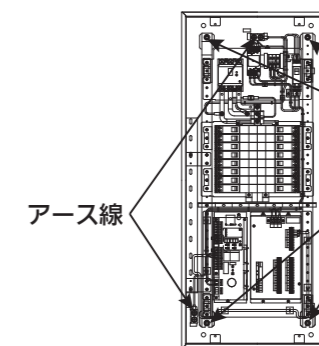
固定ナット

上下4箇所の固定ナットとアース端子のアース線を外すと
内器を取出せます。
内器を取出した後、盤に入線口の加工をしてください。

3. アンカーボルトで壁に固定し、内器を取付ける。



上下4箇所をアンカー
ボルトにて固定する。



固定ナット

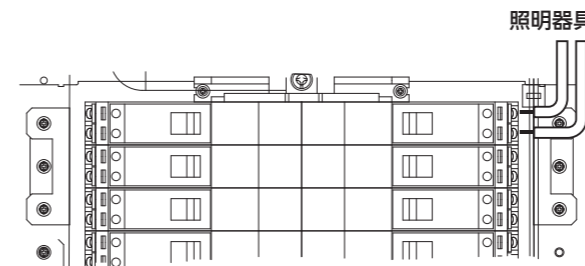
上下4箇所の固定ナットで内器を
取付け、アース線を接続してください。

4. 負荷線と信号線を接続する。

※信号線は左側に配置しているダクトを通して施工してください。

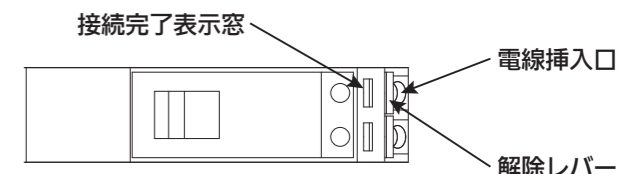
<照明器具との接続>

- ・照明器具への負荷線を出力ブレーカに接続してください。



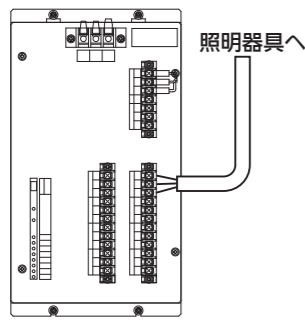
電線は被覆を18mm剥き、電線挿入口から入れ、
接続完了表示窓全体白色になるまで差し込んでください。

- 注) 接続完了表示窓全体が白色にならない場合は、接続が不十分です。
発熱・発火の原因になりますので接続し直してください。
- 注) 電線を抜く場合、解錠レバーを矢印方向に押しながら電線を
引いてください。

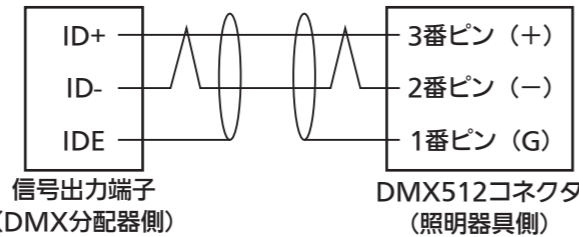


適合電線一単線 φ2.0以上
より線 3.5mm²以上（棒圧着端子使用）
[適合棒圧着端子品番：BB9921（パナソニック製）]

・照明器具へのDMX信号線をDMX分配器のOUT1~8のDMX信号出力端子に接続してください。



※DMX512コネクタとは下記のように接続してください。



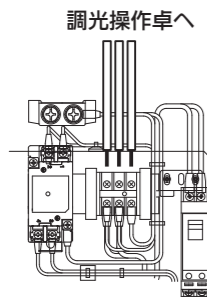
適合電線—DMX512信号線：EM-IPEE-SB 0.3mm²×1ペア

注) 「Through端子」を使用する場合は、「Terminal」をOFFにしてください。

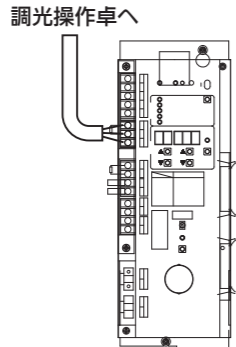
<調光操作卓（DMX512方式）との接続>

・調光操作卓の電源線を調光操作卓用電源端子台に接続してください。

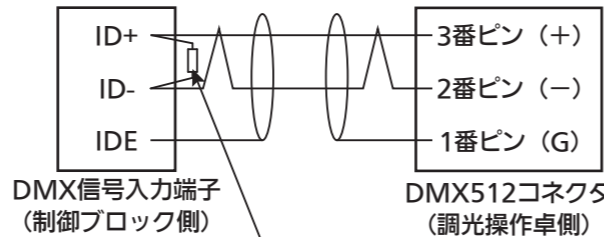
・調光操作卓からのDMX信号線を制御ブロックのDMX信号入力端子に接続してください。



適合電線—単線 φ1.6以上



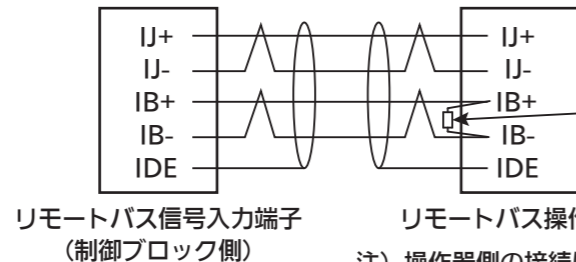
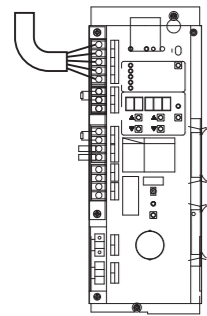
※DMX512コネクタとは下記のように接続してください。



適合電線
DMX512信号線：EM-IPEE-SB 0.3mm²×1ペア
付属の終端抵抗は残してください。

<リモートバス操作器との接続>

・リモートバス操作器からのリモートバス信号線を制御ブロックのリモートバス信号入力端子に接続してください。



適合電線—リモートバス信号線：EM-CPEE-S φ0.9×3ペア

配線は一筆書きとし
操作器末端に終端抵抗を
取付けてください。

注) 操作器側の接続は操作器の
施工説をご確認ください。

・リモートバス操作器のアドレスは下記のように設定してください。

アドレス	品名	品番	チャンネル数	シーン数
1	メイン操作器 8 C	NQ76081	1~32	1~32
5	スライド操作器 8 C	NQ76181	1~8	-
9	スライド操作器 6 C	NQ76161	1~6	-
11	スライド操作器 4 C	NQ76141	1~4	-
17	シーン選択操作器	NQ76214	-	1~4
28	メイン操作器4C	NQ76041	1~32	1~32

注) シーン選択操作器は必ずメイン操作器と組合せて使用してください。
制御ブロックのにあるディップスイッチは変更しないでください。(出荷時は全てOFF側です。)

5. 保護板と前面枠（ドアと共に）を取付け、保護板とドアを閉める。

取外した際に使用したネジで保護板と前面枠を締付、取付けてください。

注) 前面枠の右下部のネジは接地していますので、専用のネジを使用してください。

絶縁抵抗試験について

絶縁抵抗試験は下記の手順で実施してください。絶縁抵抗計からの印加電圧は「DC500V」で実施してください。

- 1) 主幹ブレーカ、出力ブレーカ、操作主幹ブレーカの全てをOFFにしてください。
- 2) 抵抗測定器のGND側を接地端子または本器筐体の非塗装部分につなげてください。
- 3) 抵抗測定器のプロブ他端を各端子に接触させ、抵抗を測定してください。
- 4) 2MΩ以上の抵抗があれば、絶縁性能に異常ありません。

注) 制御ブロックやDMX分配器の入出力端子は弱電信号端子です。
ここには絶縁試験を絶対に行わないでください。内部回路が破壊します。

トラブルシューティング

現象	考えられる原因	処置
調光操作卓で照明 負荷が調光できない。	DMX信号線が正しく接続されていない。 DMX信号線が断線している。	結線を再度見直してください。 信号線を再度見直してください。
リモートバス操作器 が使えない。	リモートバス信号線が正しく接続されていない。 リモートバス信号線が断線している。 操作器のアドレスが正しく設定されていない。 制御ブロックのディップスイッチが変更されている。	結線を再度見直してください。 信号線を再度見直してください。 アドレスを正しく設定してください。 ディップスイッチを全てOFFにしてください。

取扱説明 お客様へ、この説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、この説明書を大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

- 専門技術者以外は保護板を開けない。
感電の原因となります。

調光装置は、年に一度、専門技術者による定期点検（有料）が必要です。
点検や故障の際のお問い合わせは、施工電気工事会社または最寄のパナソニック ES エンジニアリング株式会社
までご連絡ください。

取扱い上の注意

- ・ドアは必ず施錠し、鍵を管理してください。
- ・ドアの前には物を置かないでください。